

意見検討結果一覧表

（案名：大規模公共事業再評価についての意見募集

対象事業：木賊川広域河川改修事業（盛岡市、滝沢市））

番 号	意 見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	貴重な動植物が多く存在しているので、これを生かして、県民の財産としたい。 ① 工事の継続の方向性がでているので、ハード面を作りながら、ソフト面の創造が必要。この財産（サクラソウ、カキツバタ、カワシンジュガイ多数）を、県民にどう生かすかの検討を始める時期である。そのためには、県立大学、博物館を中心に、若い世代の市民、県民を加え、さらに、弱者へ配慮し、子供から、杖を使う人まで楽しめる場としたい。 ② 第1遊水地が外来種のおおはんゴンソウに侵略されているので、その駆除が早急の課題。	遊水地の利活用については、事業完了時の周辺土地の利用状況や事業地内の動植物生息状況を考慮する必要がある、今後の社会情勢なども踏まえ、多様な主体と連携しながら、利活用について検討していきます。 また、おおはんゴンソウを含む外来種の駆除については、有識者等による木賊川希少野生動植物検討会から助言等頂きながら、適切な対応に努めていきます。	C（趣旨同一）

2	第1遊水地の西側に特定外来種のオオハンゴンソウが、侵入し、覆いつくし、在来種が消えている。さらに、水路を超えて湿原帯に侵入し、ミズバショウ等の在来種を脅かし、危機的状況である。 10年前に第1遊水地西側の一区画にあったオオハンゴンソウが、今は一面に広がり、見渡す限りだ。その速さは恐ろしい。そして水路という一線を超えてきた。 さらに、第1遊水地の東側は巣子川沿いに、オオハンゴンソウ、アレチウリの侵入が始まっている。北側は多くの種類の外来種で覆われている。 当初は第1遊水地だけの工事であったが、変更されて第2遊水地が設定されたのは、その動植物の希少性が認められたからである。 外来種駆除が早急の課題である。 工事を進める一方で第1遊水地の管理が必要である。工事が完成した時に、第1遊水地がオオハンゴンソウで覆われていたら… 以前、第1遊水地のザゼンソウの大群落を見た担当者の「岩手の宝」という言葉が忘れられない。	オオハンゴンソウを含む外来種の駆除については、有識者等による木賊川希少野生動植物検討会から助言等頂きながら、適切な対応に努めていきます。	C（趣旨同一）
---	--	---	---------

「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）